

## オーストラリアの教育改革： 全国評価プログラムに注目して

山 田 真 紀\*

Educational Reform in Australia  
with a focus on the National Assessment Program

Maki YAMADA

### はじめに

現在、オーストラリアの学校教育は急激な教育改革のさなかにある。この教育改革は、2007年11月の総選挙において、ケビン・ラッド党首率いる労働党が、ジョン・ハワード首相率いる自由党・国民党の保守連合に圧勝し、11年ぶりの政権交代を実現したことに端を発している。そしてこの2年の間に、連邦レベルでは、ナショナル・カリキュラムの改訂準備<sup>1)</sup>、全国評価プログラム National Assessment Program の導入など、学校教育の中央集権化が急ピッチで進められている<sup>2)</sup>。また筆者が2001年から継続的に調査を行っているニュー・サウス・ウェールズ州（以下：NSW と略記）では、これらに加えて、小学校の最初の学年にあたるキンダーガーテン入学時に実施する学力テストであるベストスタート・キンダーガーテン・アセスメント Best Start Kindergarten Assessment の導入、通知表 School Reports のフォーマットの統一化、年次学校調査報告書 Annual School Report のフォーマットの統一化、義務教育年限の引き上げなどの改革が進められている<sup>3)</sup>。アメリカやイギリスで進められてきた新自由主義的な教育改革が、非常に強い中央集権化を伴って、約20年遅れで徹底的に導入されているという感がある。そして重要なのは、これらの改革が実際の教授場面に大きな影響を及ぼし、筆者が5年前に実施した学校訪問調査と今年（2010年8月）に実施した調査では、教室の風景が決定的に異質なものに变化してしまったことである。そこで、これから数本の論稿において、オーストラリアの教育改革の現状とそれが教授場面に与えた影響について考察していくこととしたい。本稿では、その準備作業のひとつとして、全国評価プログラムを対象とし、その実態について基礎的情報を整理することを目的とする。

---

\* 教育学部 子ども発達学科

## 1. 全国評価プログラムの概要

### (1) 全国評価プログラムとは

2008年度から、オーストラリア連邦にある全ての公立および私立学校の第3学年、第5学年、第7学年、第9学年の全生徒を対象とする「全国評価プログラム—読み書き能力と計算能力」National Assessment Program—Literacy and Numeracy, 通称 NAPLAN が始まった。第3学年は、7月31日までに9歳になる子どもが対象であり、日本の小学3年生に相当し、第5学年は11歳で日本の小学5年生、第7学年は13歳で日本の中学1年生、第9学年は15歳で中学3年生にそれぞれ相当する。テストの種類は4種類で「読解力テスト」「文章力テスト」「基礎英語能力テスト」「計算能力テスト」を全国同一日に実施している。2010年度には「文章力テスト」「基礎英語能力テスト」の2つが2010年5月11日（火）に、「読解力テスト」が翌12日（水）、「計算能力テスト」が翌13日（木）に実施された。キャッチアップ・デー（予備日）として14日（金）に追試験日が設定されている。

この試験では、以下に示す生徒の属性についてもデータ収集され、社会的カテゴリーごとの分析が行われ、その結果が公開されている<sup>4)</sup>。

- ・生徒の年齢 / 性別 / 学年
- ・地域性：「都市部」「郊外」「遠隔地」「非常に遠隔地」の4分類
- ・原住民の子孫：「アボリジニやトレス島嶼民の子孫」「それ以外」の2分類
- ・家庭言語「英語以外の言語的背景」と「英語」の2分類
- ・両親の学歴：「学士以上」「準学士」「専門学校」「高等学校修了」「それ以下」「無回答」の6分類<sup>5)</sup>
- ・両親の職業：「管理職・専門職」「それ以外の役職者・準専門職」「職人・事務員・専門性のある事務職・営業」「機械工・接客業・助手・労働者」「過去12ヶ月間無職」「無回答」の6分類<sup>6)</sup>

また、特別措置、免除措置、棄権の権利もある。特別措置とは、普段の授業で援助を受けている生徒が試験において同様の援助を受けられるものであり、例えば視覚障害のある生徒が、大きな活字、点字、見やすい白黒の問題用紙を用いることができるものである。免除措置については、英語以外の言語を母国語とし、オーストラリアに入学して間もない（テスト実施日から1年以内）の生徒と、重度の知的および／または機能的障害をもつ生徒が試験の免除を受けることができるものである。また、学校長と相談のうえ、棄権する権利も認められている。

### (2) 全国評価プログラム導入の背景

オーストラリア連邦にとっては、全国レベルの学力テストの導入は悲願の政策であった。なぜなら1994年に初めてナショナル・カリキュラムを導入した際、全国レベルの学力テストの導入を伴わなかったこと、そして各州がナショナル・カリキュラム導入に一定の距離を示したことにより、ナショナル・カリキュラムは実効性を失い、各州の独自カリキュラムを制定するうえで参考にすべき「手引書」という存在に留まってしまったからである<sup>7)</sup>。教育課程の統一化は、統一カリキュラムと、それが網羅的に学習されているかを評価する学力テストの抱き合わせで、初めて達成されるものである。本来ならば、統一カリキュラ

ムが制定され、次にその習得状況を調査するための学力テストが導入されるという順序であるはずのところ、今回の教育改革において、全国レベルの学力テストが、統一カリキュラムに先立って真っ先に導入されたのは、こうした事情があつてのことであろう。

なお、NSW 州では、2008 年度以前から既に州レベルの学力テストを実施していた。小学生の第 3 学年と第 5 学年が受験していた「基礎能力試験」Basic Skills Test、通称 BST と、ハイスクールの第 7 学年が受験していた「英語力および読み書き能力評価」English Language and Literacy Assessment、通称 ELLA、および「中等教育計算能力評価プログラム」Secondary Numeracy Assessment Program、通称 SNAP については、2007 年度末をもってこれらのすべてのテストが廃止され、NAPLAN に移行することとなった。

## 2. 各教科のテストの内容

本節では、実際の試験問題の内容について見ていきたい。過去の試験問題はすべて、ナショナル・カリキュラムの準備と全国評価プログラムの実施を管轄する「オーストラリアのカリキュラム・アセスメント・レポート局」Australian Curriculum, Assessment and Reporting Authority、通称 ACARA のホームページ<sup>8)</sup> 上の NAPLAN のページ<sup>9)</sup> で見ることができる。以下、第 3 学年の試験を中心に、4 つの科目の内容について見ていきたい。

### (1) 読解力テスト Reading

読解力テストは文章の読解力を評価する試験である。試験時間は、第 3 学年は 45 分間、第 5 学年は 50 分間、第 7 学年と第 9 学年は 65 分間である。各学年とも「雑誌を読む」Reading Magazine というパンフレットが配布され、A4 判 1 枚にひとつずつの説明文や情報伝達文が示される。そしてそれとは別に、問題冊子が配られ、それぞれの文章について内容を問う試験である。解答の形式は、ほとんどが 4 択からなるマークシート形式であり、その他、各学年とも 2 題の筆記問題がある。

2010 年度の第 3 学年の「雑誌」を見ると、挿絵や写真が配置された多色刷りのパンフレットであり、記事のテーマは「鳥はどのようにくちばしを使うか」「リサイクリングボックス」「蟻」「一番よい先生」「運動 vs ガーデニング」「ストリッパーとエルビス」の 6 つであった。マークシート式の四択問題が 33 問、記述式の問題が 2 問で、記述式の問いは「父はネセシティ（必要）という名の人物を知っていましたか。そう思う理由を述べなさい」「この文章はおもしろいはずの本から引用されている。本文からユーモアであると思われる例を挙げて、それがなぜおもしろいのかを説明しなさい」の 2 つであった。

### (2) 文章力テスト Writing

文章力テストは叙述的な文章の作成の力を評価する試験である。全学年共通問題であり、試験時間は、計画 5 分、執筆時間 30 分、見直し 5 分で計 40 分間。2010 年度の試験問題は以下の通りである。

今日あなたはお話（物語）を書くことになります。その物語の題材は「なんてめちゃくちゃな！」。物語はめちゃくちゃな人の話でも、散らかった場所の話でも、複雑で扱いにくい状

況についての話でも構いません。人々の間で行き違いが起こることでも、計画が間違った方向にってしまうことでもいいです。約束を破ったり、友情が壊れたり、混乱を引き起こすような予期しない出来事の話になるかもしれません。

○次のことについて考えましょう

- ・物語に出てくる登場人物
- ・物語はどこでいつ起きたか
- ・複雑さや問題と、その解決方法
- ・どのように物語が終わるか

○次のことに注意しましょう

- ・始める前に物語の計画を練りましょう
- ・注意深く単語を選びましょう
- ・文を用いて書きます
- ・つづりや句読法、段落に注意を払いましょう
- ・書いたものをチェックし、校正しましょう

### (3) 基礎英語能力テスト Language Convention

基礎英語能力テスト<sup>10)</sup>では、つづり、句読法、文法についての能力を測定する。試験時間は第3学年と第5学年が40分間、第7学年と第9学年が45分間である。サンプルとして第3学年の練習問題を図表1に示した。出題形式は各学年ともほぼ同様である。

実際の第3学年のテストは、練習問題1のように○で示された間違った単語を正しいつづりに直す「タイプ1」が11問、文のなかに潜んでいる間違った単語を見出し、正しいつづりに直す「タイプ2」が14問、設問に対して選択肢から正しい答えを選ぶ「タイプ3」が6問、文の一部が穴埋めになっており、選択肢から正しい答えを選ぶ「タイプ4」が12問、句読点・感嘆符・疑問符の正しい位置を選ぶ「タイプ5」が5問あり、計48問からなる。問われる内容は、練習問題1と2のようなつづり、練習問題3のような統語法、練習問題4のような文法、練習問題5のような句読法からなり、つづりのミスを直す問題が25問、文法的に正しい単語を入れたり（5問）、形容詞を認識したり（1問）、正しいセンテンスを選ぶ問題が7問で文法を問う問題が計13問、大文字や小文字の使い分け、感嘆符や疑問符の使い方などの統語法を試す問題が5問、カンマやフルストップの場所を問う句読法の問題が5問となっている。

### (4) 計算能力テスト Numeracy

計算能力テストは、数、代数、関数と図形、測定、確率統計、空間、計算に関する能力を測る試験である。試験時間は、第3学年は45分間、第5学年は50分間であり、第7学年と第9学年はいずれも40分ずつの第一部と第二部のテストを受ける。第一部では計算機の利用が許され、第二部では使用できない。

次ページから第3学年の計算能力テストの全問（翻訳：筆者）を掲載する。このテストを一覧すると、「計算能力テスト」という名称から想像される足し算や引き算の計算や、分数や少数の計算がないことに気づく。第3学年と第5学年の「問題例」に計算問題が1題あり、第7学年で「 $37.9 \times 10$ 」という計算問題が1題ある他はすべて文章題からなってお

図表 1 基礎英語能力テストの問題例

PRACTICE QUESTIONS	
<b>P1</b>	<p>The spelling mistake in this sentence has been circled. Write the correct spelling for the circled word in the box.</p> <p>We go to <u>scool</u> in a bus.</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; float: right; text-align: right; padding-right: 5px;">P1</div>
<b>P2</b>	<p>This sentence has one word that is incorrect. Write the correct spelling of the word in the box.</p> <p>We whent to buy some toys.</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; float: right; text-align: right; padding-right: 5px;">P2</div>
<b>P3</b>	<p>Which sentence has the correct punctuation?</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">             Shade one bubble.         </div> <p> <input type="radio"/> tom has a red ball  <input type="radio"/> tom has a red ball.  <input type="radio"/> Tom has a red ball  <input type="radio"/> Tom has a red ball.         </p>
<b>P4</b>	<p>Read <i>Pets</i>. Some words have been left out. Which word or words correctly complete the sentence?</p> <p><b>Pets</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div> <p>Some people like cats <span style="background-color: gray; color: black;">          </span> than dogs.</p> </div> <div> <input type="radio"/> best  <input type="radio"/> better  <input type="radio"/> more best  <input type="radio"/> more better                 </div> </div>
<b>P5</b>	<p>Two full stops ( . ) have been left out of these sentences. Where do the missing full stops go?</p> <p>Our class has lots of toys We like the bats and balls best</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <span>↑</span>   <span>↑</span>   <span>↑</span>   <span>↑</span> </div> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">             Shade two bubbles.         </div>

© ACARA 2010

り、この特徴は学年を問わず見られる。つまり、子どもの実生活に即した文脈において、数学的な知識が生かされるようになっているかを試す問題となっている。このテストは、学校のカリキュラムがどれだけ習得されているかを確認する試験であるとともに、「知識や技能が、(中略) 実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかどうかを評価」<sup>11)</sup>する PISA 型学力を意識したものになっているといえる。

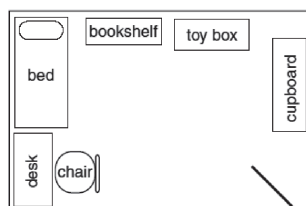
図表2 2010年度の計算能力テスト（翻訳：筆者）

1. 生徒達は好きな動物について投票しました。  
何人の生徒が「馬」に投票したでしょう。

好きな動物	
動物	得票
ねこ	
いぬ	
魚	
馬	

〈選択肢〉 9 10 11 12

2. ジェイはベッドルームの見取り図を書きました。  
ベッドとおもちゃ箱の間には何がありますか？



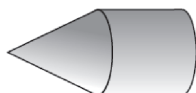
〈選択肢〉 本棚 机 椅子 食器棚

3. アンは風船を持っています。アンはネイサンに半分の風船をあげました。いくつあげたことになりますか？



〈選択肢〉 2 4 8 16

4. スティーブは2つのブロックを組み合わせて次のような物体を作ろうとしています。彼が使ったのは、円錐と何でしょう。



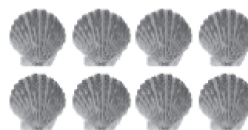
〈選択肢〉 立方体、円柱、四角すい、直方体

5. 足して **564** になるのはどの計算式でしょう。

〈選択肢〉  $5+6+7$   $50+60+40$

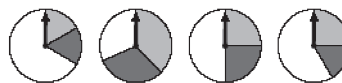
$500+40+6$   $500+60+4$

6. エマは貝殻をもっています。彼女は5つを残し、残りをハリーにあげました。エマがハリーにあげた貝殻の数はいくつでしょう。

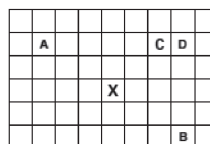


〈選択肢〉 3 4 5 8

7. どのこまが一番白い部分で止まることが多いでしょうか。

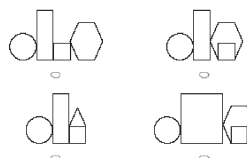
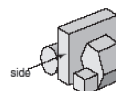


8. メルの駒は X にあります。彼女はこの駒を右に3つ、上へ2つ動かします。メルは駒をどこに移動させましたか？



〈選択肢〉 A B C D

9. ニックはダンボールを使って次のような模型を作りました。横から見た図はどれですか。



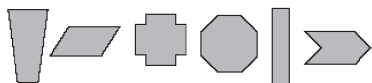
オーストラリアの教育改革：全国評価プログラムに注目して

10. ジーナはこれだけのコインしか持っていません。  
彼女は 1 ドル 95 セントの雑誌を買いました。  
残っているお金はいくらですか。



〈選択肢〉 1 ドル 1 ドル 10 セント 2 ドル  
2 ドル 10 セント

11. 次の図形のうちちょうど 4 辺からなるものは  
いくつありますか。



〈選択肢〉 2 3 4 5

12. ヘンリーはカードを 4 つの山に分けました。ひ  
とつの山には 20 枚のカードがあります。ヘンリ  
ーは合わせて何枚のカードを持っていますか。

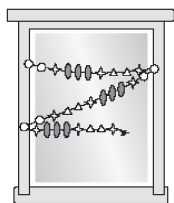
〈選択肢〉 5 24 80 100



13. ベンは 68 個の缶を集めました。ジャックは 109  
個集めました。ふたりの缶をあわせるといくつ  
になりますか。

〈選択肢〉 167 168 176 177

14. 窓の明かりは次のように並んでいます。次にく  
る 4 つの明かりの並び方はどれですか。



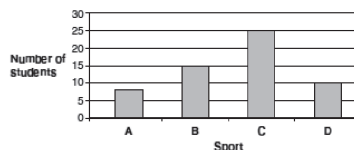
15. 時計は何時を示していますか。



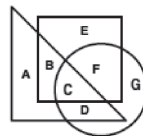
〈選択肢〉  
3:08 3:40 8:03 8:15

16. 生徒たちは好きなスポーツを選び、グラフを作  
りました。

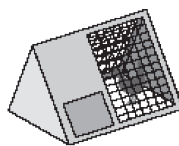
- ・水泳は一番人気がある。
  - ・フットボールはクリケットより人気がある
  - ・ネットボールはフットボールより人気がない
- どの棒グラフがフットボールを示していますか。



17. 正方形のなかにも三角形のなかにもあって、円  
のなかにはない文字はどれですか？



18. ナタリーはペットの鶏のために小屋を作りました。小屋の形で一番近いものはどれでしょう。



〈選択肢〉 直方体 四角すい 三角すい 三角柱

19. ライアンはカレンダーを作りました。6 月 3 日  
は金曜日です。6 月 27 日は何曜日ですか。



〈選択肢〉 月曜日 火曜日 日曜日 水曜日



20. このビスケットはひとパック 10 個入りです。シェリーは 27 人のクラスメートに 1 枚ずつビスケットをあげたいと思います。少なくとも何パックが必要ですか？

〈選択肢〉 1 2 3 4

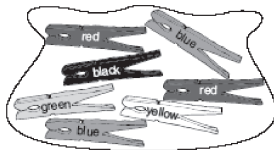


21. これは靴の写真です。実際の靴の大きさとして最も近いものはどれですか。



〈選択肢〉 5cm 25cm 75cm 100cm

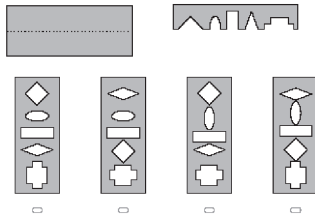
22. ジェスは同時に 2 つの洗濯ばさみを袋から取り出します。不可能な組み合わせはどれでしょう。



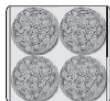
〈 選択肢 〉

青と黒の洗濯ばさみ 赤と赤の洗濯ばさみ  
緑と緑の洗濯ばさみ 黄色と黒の洗濯ばさみ

23. マンディは長方形の紙を点線で折って、いくつかの形を切り抜きました。紙を開いて縦にします。どれがマンディの紙でしょうか。



24. ジェイムズは 12 個のピザを作りました。次のようなトレイに 4 つずつ入れます。必要なトレイの数を導き出すことができるのはどれですか？



〈選択肢〉

$12 \div 4$   $12 \times 4$   $12 - 4$   $12 + 4$

25. 2 つ半のオレンジにはいくつの「4 分の 1」個がありますか？



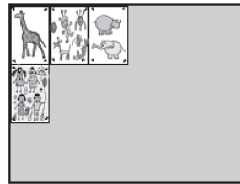
〈選択肢〉 5 6 9 10

26. ダナは 10 からはじめ、次のような数字のパターンを作りました。次の数字は何でしょう。

10, 11, 13, 16, 20, 25, ?

〈選択肢〉 26 30 31 35

27. 先生は掲示板に生徒の絵を次のように貼り始めました。同じ大きさの絵を全部で何枚貼ることができますか。



〈答えを書く〉

28. 3 年生は旅行に行きます。これはその日の計画です。1 時に生徒は何をしていますか。

Start time	Activity
9:45	Leave school by bus
10:30	Arrive at Aquarium
11:30	Morning tea
11:45	Feed the seals
12:45	Lunch at the park
1:30	See movie 'Under the Sea'
2:45	Leave by bus
3:30	Arrive back at school

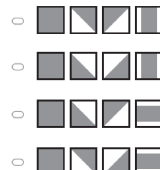
〈 選択肢 〉

あざらしと一緒に 映画を見ている  
モーニングティを取っている 公園にいる

29. ジョシュは次のようなタイルを持っています。

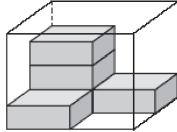


時計回りに 4 分の 1 回転すると、新しいデザインはどれになりますか。





30. 紙箱のなかに小さな箱が5つ入っています。すべて同じ大きさです。この紙箱に小さな箱は全部でいくつ入れることができますか。



31. 生徒は5つのチームに属していました。何人かの生徒がチームを変わり、すべてのチームは同じ人数になりました。チームにはそれぞれ何人の生徒がいますか？

Team	Number of students
Comets	4
Supers	7
Stars	5
Champs	11
Kings	3

32. ローラは帽子とかばんを買いました。全部で25ドルです。かばんは帽子より5ドル高いです。帽子はいくらでしたか。



33. 学校には10個のサッカーボールを入れる箱があり、4つの箱にはそれぞれ6個のボールが、それ以外の箱にはそれぞれ5個のボールが入っています。全部でボールはいくつありますか。

34. 車のなかには60個の箱が積んであります。6つのお店があり、7つずつお店に配達します。すべてのお店に配ったあとに車のなかにはいくつの箱が残っていますか？



35. これらの形を使ってピラミッドを作ります。辺の数はいくつですか？



問題は以上です。

### 3. テスト結果の通知と公表に関して

学力テストを実施する場合、その実施自体よりも、その結果をどう扱うかが議論の焦点となることが多い。NAPLANはその実施目的として「テスト結果は、各生徒の学力に関する大切な情報を学校に提供し、指導および学習プログラムの開発に活用されます」と、指導上の大切な資料を得ることを前面に押し出しており<sup>12)</sup>、NSW州も「学校間比較を公表することは違法」と判断している。しかしながら、オーストラリア政府は「透明性 transparency の確保」<sup>13)</sup> という理念から、学校ごとの成績や州ごとの成績を公表しており、以前のNSW州統一試験が個人の成績も学校ごとの成績も公表することを禁じていたことに比べると、データの取り扱い是非常にオープンである。

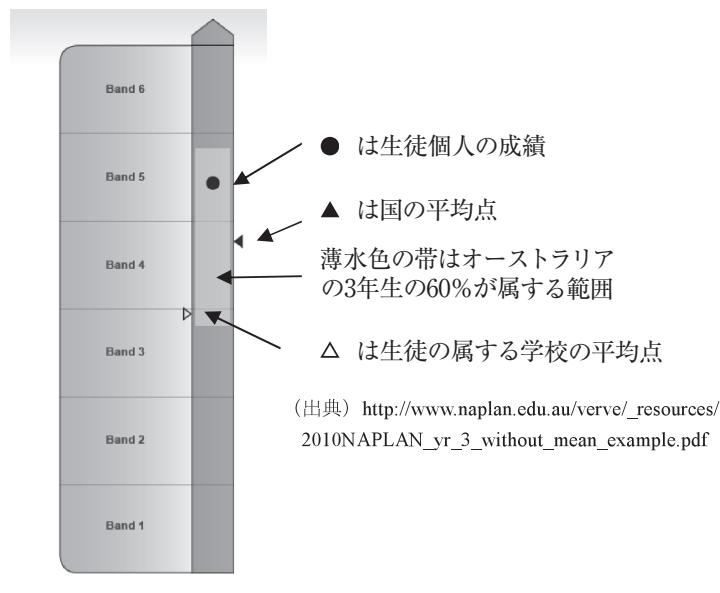
具体的には、テストの結果は以下の3つの形態で通知・公表される。第一に、生徒個人の成績は、学校に送付され、今後の学習指導の資料として生かされるとともに、保護者にも送付される。第二に、学校ごとの成績はインターネット上で公開され、学校の教育活動に対する説明責任を果たす役割を担うとともに、保護者の学校選びに資する情報を提供する。第三に、NAPLANのホームページ上に「年間報告書」が公開され、州ごとの成績と、先にも述べた社会カテゴリーごとの成績についての情報を提供する。以下にその具体的な

あり方を見ていきたい。

### (1) 生徒の成績

生徒個人の成績は、学校にフィードバックされるとともに、試験を受けた4ヶ月後の9月に保護者にも郵送される。図表3に保護者に郵送される評価表の一部を掲載した。「読解力」「文章力」「基礎英語能力（つづりと文法・句読法）」「計算能力」の4つの柱で、全国平均、学校平均とともに生徒個人の示した能力がバンドと呼ばれる尺度上にプロットされる。図表6に示したように、バンドと呼ばれる尺度は1から10までに区切られており、第3学年はバンド1から6、第5学年は3から8、第7学年は4から9、第9学年は5から10のいずれかのバンドに成績が割り振られる。第3学年では、バンド1は「国家の最低基準以下」、バンド2は「国家の最低基準上」、バンド3以上は「国家の最低基準以上」を示し、第5学年では基準以下がバンド3、基準上が4、基準以上が5以上となり、第7学年では基準以下がバンド4、基準上が5、基準以上が6以上、第9学年では基準以下がバンド5、基準上が6、基準以上が7以上となっている。さらにこのバンドで示したグラフの下部には、テストで何を測っているかが説明され（図表4）、さらに別紙において各バンドはどんな能力を示しているかの一覧表が付いている（図表5）。それぞれの学年の成績表の見本はNAPLANのホームページ上で閲覧可能である<sup>14)</sup>。

図表3 個人成績表の例（第3学年）



図表4 成績表に示される「測定の観点」(第3学年)

【読解力テスト】

生徒は、挿絵や図解によるサポートがついた物語、論説文、情報伝達文を読みます。生徒は次の観点から読みについてテストされています。

- ・明確に述べられた情報を見つける
- ・アイディアをつなぎ、結論を導く
- ・登場人物がどのように考え、感じ、行動するかを考える
- ・文章のなかのユーモアを理解する
- ・文章の主要なアイディアを見つける

【基礎英語能力テスト】

生徒はつづり、文法、句読法という観点でテストされます。テストは以下の点を含みます。

- ・規則的なつづりパターンと文字の組み合わせをもつ、1つか2つの音節からなる、よく使われる単語を正しくつづる
- ・よく使われる単語の間違いを見つけ、正しくつづる
- ・正しい文の構造を認識する
- ・大文字、句点、疑問符などの基礎的な句読法の正しい使い方を認識する

【文章力テスト】

生徒は物語を書きます。以下のようなスキルをどれだけうまく表現できているかを評価するテストです。

- ・物語を構成し、アイディアや登場人物を発展させ、効果的な言葉の選択をする
- ・文法、句読法、つづり、段落など、書き言葉の約束事を使う
- ・読み手をひきつける

【計算能力テスト】

生徒は以下の計算能力の観点からテストされています。

- ・足し算や引き算を含む問題を解く
- ・簡単な分数の理解と、測定や空間の問題でそれらを使う力
- ・足し算や引き算を含む、空間的パターンや数字のパターンを続ける
- ・簡単な表からデータを読む
- ・測定において非公式な単位を用いる
- ・カレンダーを読み、アナログ時計で主要な時間を読む
- ・一般的な平面図形や立体図形、そしてそれらの性質について理解する

図表5 「各バンドが示す能力」一覧表(第3学年)

band	読み	書き	基礎英語能力	計算
6	段落の最後にある文の目的を理解し、物語の読者に質問が向けられていることを理解する。論説文の文や段落間のアイディアをつなぎ合わせる。書き手の意見の根拠を見出し、論説文において、ある特定の観点がどのように表明されているかを認識する。	ひとつのアイディアもしくは関連するアイディアの集合体に焦点を当てた段落から物語を構成する。出来事やアイディアを描写する際、正確な単語や単語群を用いる。大文字、句点、疑問符、感嘆符をほぼすべての文で正しく用いる。しばしばより複雑な句読法を正しく用いる。	規則的な文字列と規則的な終わり方をするある一定範囲の単語の間違いを指摘し正しくつづる (paddling, heavier, daily, directions, safety など)。より長い文やスピーチにおいて文法や句読法の約束事の知識を示す: 文節をコマで区切り、短縮形のアポストロフィーを打つなど (we'll)。	データを解釈し、平均を出すための足し算と割り算を含む複数の手順からなる論理問題を解く。お金に関する、値段を出すための足し算引き算を含む複数の手順からなる論理問題を解く。

山 田 真 紀

5	図解のなかの発音ガイドの目的について理解する。背景知識を適応し、物語の登場人物について推論したり情報を統合したりする。主要なアイデアを推論し、民話の登場人物について論評し、結論を導く。	出だし、複雑な状況と出来事が相互に関連づけられた物語を構成する。読者が容易に理解できるように物語に対する十分な詳細の描写が含まれるが、結論は弱く単純である。ほとんどの単純な文と重文、そしていくつかの複文は正しく構成されている。	規則的な文字列と単純な終わり方をする一音節や二音節の単語の間違いを指摘し正しくつづる (chased, guess)。標準的な文とスピーチの文法と句読法の約束事を理解する：形容詞、複合動詞 (could have)、複合固有名詞の大文字開始、リストを示す際のコンマなど。	分割問題を解く手順がわかる。全部と半分のなかに4分の1がいくつあるか数えられる。足し算を伴う2つの手順の数のパターンを理解する。きっちりと積み上げる様子を視覚化でき、面積を計算するために非公式な単位を用いる。簡単なタイムテーブルを読む。4分の1回転したときの幾何学模様を認識する。
4	図解で示され複数のアイデアをつなぎ合わせる。接続詞の意味を理解し、挿絵つきの情報伝達文の挿絵の目的について結論を導き出す。物語の中のアイデア同士をつなぎ合わせる。	登場人物や状況が簡単に描写された物語を書く。大文字と句点を両方使い、正しく句読法を用いて文を書く。名前を大文字で書き、その他の句読法についてほぼ正しく使う様子が見られる。一般的な単語のほとんどを正しくつづる。	規則的な文字列でできた一音節や二音節の単語 (fruit, knee, talked, pushes) や単純な文字列からなる複合語 (grandfather) の間違いを指摘し正しくつづる。短い文とスピーチの文法と句読法の約束事を理解する：形容詞群、代名詞 (those)、簡単な固有名詞の大文字開始などを正しく使う。	掛け算と四捨五入を含む問題を解く。あるパターンをもつものの続きの形がわかる。一般的な物のおよその長さがわかる。15分や45分を含むアナログ時計の時間を読む。比較を含む文を理解し、それを棒グラフに現せる。日常の文脈にある三角柱を探せる。問題を解くために平面図形の論理や認識を用いる。
3	挿絵つきの情報伝達文の異なった部分から、明確に伝達された事実をつなぎ合わせる。アイデアを説明し、図解で示されるアイデアをつなぎ合わせる。物語で語られる情報を簡単に説明する。民話の登場人物の気持ちを推察する。	それほど精巧ではないものの、関連する出来事をつなぎ合わせて物語を書くようにする。ほとんどの単純な文で単語を正しく並べる。重文や複文を用いることを試みるがほとんど成功していない。接続詞を使ってアイデアを順序づけたり統合したりするもののその関連は常に明確で正しいわけではない。	簡単な文字列でできた一音節の単語の間違いを指摘し正しくつづる (bread, blue, rain, eyes, would)。短い文の文法と句読法の約束事を理解する：つなぎ言葉や同格詞 (that, but) と修飾詞や形容詞、文頭を大文字で始める、読点と疑問符と用いるなど。	掛け算や足し算の繰り返しを含むひとつの手順の問題を解く。おつりなど日常のお金の問題を解くためにお金を扱える。単純な確率の問題で最も起きやすい結果を選ぶ。与えられた幾何学上の特性をもついろいろな平面図形を認識できる。
2	図解と物語において明確に伝達される情報を見出す。挿絵つきの情報伝達文の各文から明確に伝達される事実をつなぎ合わせる。物語の聞き手が誰か理解する。	例えば「昔々……」で始めるなど、一般的な物語の要素を用いることで読み手への配慮を示す。大文字や句点を正しく使う。簡単な単語のほとんどを正しくつづる。1つか2つの音節をもついくつかの単語も正しい。	簡単な文字列でできたいくつかの単語の間違いを指摘し正しくつづる。短い文の文法と句読法の約束事を理解する：例えば代名詞 (himself) を正しく使うなど。	図解の助けを借りて一桁の数の引き算を正確に用いて文章題を解ける。3桁の数字の成り立ちを理解する。描写された円柱を理解し、立体の側面から見た形がわかる。指示に従って簡単な格子の上に位置を見つける。
1	簡単な文と一般的な単語、それらの単語をサポートする絵のある短い文章の意味を理解する。挿絵つきの情報伝達文の最初の文から明確に伝達された情報を探し出す。	読解可能で単純な内容を少量書く。登場人物やモノに名前を付けることができる。単純な文のために単語を正しい順序で書けるが句点や大文字が間違えるか不正確である。いくつかの簡単な単語は正確につづることができる。	簡単な文字列でできたいくつかの単語の間違いを指摘し正しくつづる。限定的であるが短い文の文法と句読法の約束事を理解する：簡単な接続語 (because) や一般的な動詞 (will go) を正しく使うなど。	小さい数の物であれば、その半数の数を数え理解できる。合計を計算するのに表にあるおはじきを足せる。簡単な図であれば、ふたつの物の間に物を置ける。

(注) 斜体は他学年の一覧表において同じバンド上に同一文句で記載のあるもの  
下線部は他学年の一覧表では異なったバンド上に記載のあるもの

オーストラリアの教育改革：全国評価プログラムに注目して

図表6 「各バンドが示す能力」一覧表（第5学年）

band	読み	書き	基礎英語能力	計算
8	物語における登場人物の会話の効果、登場人物の行動の理由など、様々な文章のアイデアと情報を統合し、解釈する。	読者を惹きつけようとする一貫性のある物語を書く。感情的な反応を起こさせるためによく練られた適切な単語の選択がなされる。ファンタジーや冒険物語と分かるような文章タイプの形や、ユーモアやドラマのような仕掛けを用いようとする。最も複雑な文章を正しく構成する。	難しい文字列と難しい終わり方をするある一定範囲の単語の間違いを指摘し正しくつづる (breathes)。より複雑な文章において文法や句読法の約束事の知識を示す：組み合わせのある接続詞 (neither, nor)、副詞の形 (more deeply)、関係代名詞 (whose)、複合動詞の形を正しく使う。	掛け算・割り算を含む面積の問題を解釈し解く。掛け算表で倍数が分かる。数式を完成させるために、数直線の知識と掛け算を用いる。いくつかの辺の長さが書いていない変則的な平面図形の周の長さを計算し、容積を含む複数の手順からなる問題を解くために推論を用いる。対角線を挟んだ複雑な形の対称形を認識する。
7	情報伝達文において、最初の段落の目的を理解し、段落ごとのアイデアをつなぎ合わせる。物語において描写と、作者の意図を解釈する。登場人物の気持ちを推測する。雰囲気の変化が分かり、物語のなかのアイデアをつなぎ合わせる。	出だし、詳細な複雑状況を含んだ物語を書く。描写や会話を通して登場人物や物事が発展していく。接続詞を用いてアイデアを結びつけたり並べたりし、物語を通して明確な意味が維持される。ほとんどの一般的単語といくつかの難しい単語（規則的でないつづりパターンや無発音字を含む単語）が正しくつづられている。	難しい文字列からなるある一定範囲の単語の間違いを指摘し正しくつづる (extension, bicycle, biography, excellent)。より長い文やスピーチにおいて文法や句読法の約束事の知識を示す：接続詞 (while)、複合動詞 (could have)、所有を現すアポストロフィー (nobody's) を正しく使う。	小数、お金、量を含む複数の手順からなる問題を解く。掛け算の問題で最も近い百単位の数を推定する。不等号を含む数式を完成させる。完成された立体を可視化させ、容積を計算するために非公式な単位を用いる。立方体からなる空間図形において色のついた面の数が分かる。
6	明確に述べられているわけでない情報を情報伝達文のなかから見つける。物語における登場人物の行動と、登場人物間の関係性を推測する。文や段落間のアイデアをつなぎ合わせ、論説文における書き手の意見の根拠を見出す。2つの対立する論説文を比べ、合意点を見出す。	【全学年の6と同じ】	規則的な文字列と規則的な終わり方をするある一定範囲の単語の間違いを指摘し正しくつづる (remember, tropical, tractor, journey, mountain, address)。より長い文やスピーチにおいて文法や句読法の約束事の知識を示す：文を分けるための句点、句を分けるためのコンマを正しく使う。	掛け算を含む文章題を解く。小数の成り立ちを分解することができる。倍数変化を含む複雑な数のパターンにおいて次に続く数が何であるか分かる。小数を解釈し、グラムとキログラムで与えられる4つの量を比較できる。時間の単位を変え、年齢の違いについて分かる。一部が隠されている幾何学模様その部分の模様が分かり、正方形に敷き詰められる形を選ぶ。
5	物事の順番を特定し、一連の指示において次の手順を推測する。図解のなかの発音ガイドの目的について理解する。明確に述べられている情報を情報伝達文の本文に位置付ける。	【全学年の5と同じ】	規則的な文字列と規則的な終わり方をする一音節や二音節の単語の間違いを指摘し正しくつづる (launch, arrow, island, uncle, ocean, hedge)。標準的な文とスピーチの文法と句読法の約束事を理解する：動詞の形、複合固有名詞の大文字開始、スピーチにおける引用符、短縮形のアポストロフィ (he's)、括弧を正しく使う。	4ケタの足し算で効果的な戦略と、割り算の問題を解く手順が分かる。分数は全体の一部分を示すことが分かる。確率の問題で不可能な結果が認識できる。関連する情報を明らかにするためにパイの配列を解釈する。与えられたから立体図形の名前を言う。地図上において方向の変化を比較し、最大の角度を明らかにし、場所を示すために方位磁針コンパスを用いる。



4	指示と提案の違いを認識する。図解で示された複数のアイディアをつなぎ合わせる。情報伝達文における情報を図解の形に現せる。物語において登場人物の性格や気持ちを推測する。	【全学年の4と同じ】	規則的な文字列でできた一音節や二音節の単語 (fruit, knee, talked, pushes) や単純な文字列からなる複合語 (grandfather) の間違いを指摘し正しくつづる。短い文とスピーチの文法と句読法の約束事を理解する: 適切な構造, 形容句, 短縮形, 括弧, リストを示す際のコンマを正しく使う。	掛け算や四捨五入を含む問題を解く。15分や45分を含むアナログ時計の時間を読む。比較を含む文を解釈し, 棒グラフからの情報と整合させる。問題を解くために平面図形の論理や認識を用いる。
3	図解で示されたアイディアを解釈する。求められた情報を推論するために背景知識を使い, 複数の指示により示されるアイディアをつなぎ合わせる。	【全学年の3と同じ】	簡単な文字列でできた一音節の単語の間違いを指摘し正しくつづる (would)。短い文の文法と句読法の約束事を理解する: 代名詞 (himself) や修飾詞や形容詞を正しく使うなど。	合計を出すために箱を敷き詰める。コマを含む単純な確率の問題で最も起きやすい結果を選ぶ。簡単な時間軸におけるデータを読む。簡単な道路地図において与えられたグリッド線を参照しながら場所を明らかにする。

(注) 斜体は他学年の一覧表において同じバンド上に同一文句で記載のあるもの  
下線部は他学年の一覧表では異なったバンド上に記載のあるもの

## (2) 学校の成績

ACARA のホームページのトップページにリンクされている「マイ・スクール」というウェブサイト<sup>15)</sup>において, 各学校の平均点が公開されている。各学校のページは, 学校の概要 (生徒の民族的背景, 特別なカリキュラム), 学校基本情報 (図表7), NAPLAN の結果 (図表8), 各バンドの生徒の比率 (類似学校と全国平均との比較), 類似学校の一覧, 近隣学校の一覧という要素で成り立っている。

図表8の中央の数字は学校の平均点を示す。SIM は統計的に類似した学校の平均点で, ALL はオーストラリア全体の学校の平均点である。その上部のカラーは, 緑色が平均に比べて成績がよいことを, 赤が平均に比べて成績が悪いこと示している。

「マイ・スクール」に各学校の成績を掲載することには議論があり, NSW 州は新聞が情報を集めて, 学校間比較を公表することは違法と判断し, 教職員組合は新聞が結果を公表するのであればナショナルテストをボイコットすると表明する混乱があった<sup>16)</sup>。

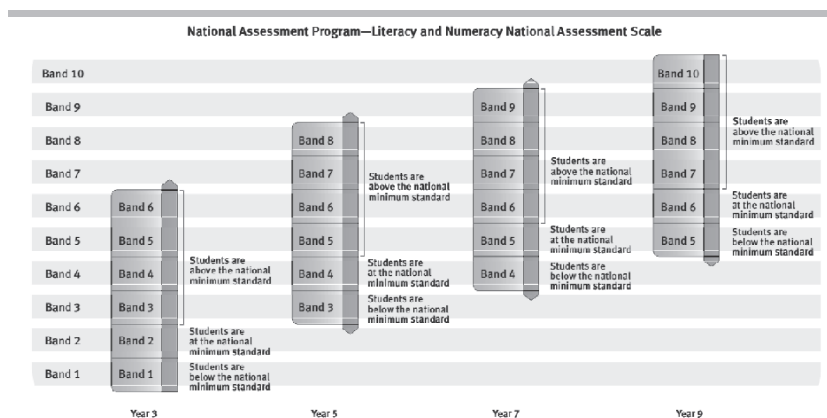
また, 各学校は学校のホームページにおいて年次学校調査報告書 School Annual Report を掲載しており, そのなかでも当該学校の NAPLAN の成績の概要を公開している。

## (3) 州と社会カテゴリーごとの成績

州と社会カテゴリーごとの成績は, NAPLAN のホームページにおいて, 「国家報告: 読み・書き・基礎英語能力・計算の成績」National Report: Achievement in Reading, Writing, Language Conventions and Numeracy のなかで公開されている。州ごとの成績を見ると, ノーザンテリトリーの成績が著しく悪いことが分かる。社会的カテゴリーごとの分析でも, 興味深い結果を知ることができる。男女別では, 学年を問わず, 計算能力においては女子よりも男子において成績が良いが, その他の教科や下位領域では女子の方が成績が良い。原住民族の子孫であるか否かでは, 原住民族の子孫でないグループにおいて圧倒的に

## オーストラリアの教育改革：全国評価プログラムに注目して

図表7 各学年におけるバンドが示す意味



(出典) [http://www.naplan.edu.au/verve/\\_resources/NAPLAN\\_2010\\_Summary\\_Report.pdf](http://www.naplan.edu.au/verve/_resources/NAPLAN_2010_Summary_Report.pdf)

図表8 学校基本データ（例）

School facts	
School sector	Government
School type	Primary
Year range	K - 6
Total enrolments	273
Girls	143
Boys	130
Full-time equivalent enrolments	273
Indigenous students	4%
Location	Metropolitan
Student attendance rate <sup>1</sup>	95%
Teaching staff	18
Full-time equivalent teaching staff	18.3
Non-teaching staff	3
Full-time equivalent non-teaching staff	2.4

成績がよく、ノーザンテリトリーの原住民族の子孫のグループで著しく成績が悪い。英語以外の言語的背景をもつグループと英語グループの比較では、移民の二極化を示すのか、成績分布が英語グループより幅広いという特徴が見られる。第5学年以降で、文章力とつづりにおいて「英語以外」の上層部での成績が高くなり、計算能力では著しく成績が良くなる。一方で、下層部の成績は「英語」とあまり変わらないため、広い分布を示すようになる。ノーザンテリトリーの「英語以外の言語的背景」は、すなわち「原住民族の子孫」を示すことから、このグループにおいて、著しく成績が悪い。学校のある地域性については、どの州においても「都市」＞「校外」＞「遠隔地」＞「非常に遠隔地」の順に成績が悪くなり、ノーザンテリトリーの「遠隔地」と「非常に遠隔地」では著しく成績が悪い。



図表9 「マイ・スクール」で公開される学校の成績（例）

2009	2008									
	Reading		Writing		Spelling		Grammar & Punctuation		Numeracy	
Year 3	▶ 425		434		417		431		410	
	SIM 438	ALL 411	SIM 433	ALL 414	SIM 425	ALL 405	SIM 442	ALL 420	SIM 416	ALL 394
Year 5	▶ 488		498		519		499		515	
	SIM 517	ALL 494	SIM 504	ALL 485	SIM 504	ALL 487	SIM 522	ALL 500	SIM 507	ALL 487
Year 7										
Year 9										

「親の学歴」と「親の職業」では、学歴が高いほど、また、威信が高く、高給な職業に就いているほど、子どもの成績の平均値が高くなるという傾向が見られた。

#### 4. 全国評価プログラムをめぐる議論

以上、2008年度から導入された全国評価プログラムの現状について報告してきた。始まったばかりの全国評価プログラムであるが、概観するだけでもいくつかの問題点に気づく。第一に、一見、科学的に見える絶対評価のための「バンド」という尺度の妥当性である。本論文では第3学年と第5学年の各バンドが示す学力の中身の一覧表を訳出したが、文章力テストを除いたすべての教科において、第3学年と第5学年の同一バンドの内容が異なることが分かった。中には、第3学年でより高いバンドに記されていたことが、第5学年では低いバンドに記されているという混乱も見られる。こうした印象的で妥当性の低い尺度に基づいて生徒の成績を報告するならば、「生徒の学力を客観的に把握し、今後の指導に役立てる」という最も大切な目的は達成されるのであろうか。基礎英語能力テストであれば、「つづり」の正答率何パーセント、「句読法」の正答率何パーセント、計算能力テストであれば、「数」の正答率何パーセント、「確率統計」の正答率何パーセント、「図形」……というように示したほうが、より客観的で今後に資するデータを提供するのではないだろうか。

第二に、学校の教育活動に対する説明責任を果たし、透明性を高めるために、学校の成績を公表することのもつ意味についてである。継続的に調査に協力いただいている小学校では、今後3カ年の目標と計画を策定しているが、そこには「第3学年の70%が、全国評価プログラムで、熟達レベル proficiency level (Bands 5 & 6) を修める」「第3学年の95%が、全国評価プログラムで国家の最低基準 minimum standard 以上の成績を修める」ということが明記されている。そしてその手段として、「診断的アセスメントとターゲッ

トを絞った支援」「学習支援チームが、継続的なモニターを行ない、生徒の進歩を把握する」ということが示されるのである。こうした流れは、コアカリキュラムの伝統を持ち、教師の自律性が尊重されてきたオーストラリアの教授場面を大きく変えてしまうほどのインパクトがあった。

これらの論点については、それぞれ別稿にて詳細に論じることとし、ここでは問題を指摘するだけにとどめたい。今後は、オーストラリア国内でこの全国評価プログラムがどのように受け止められ、どのように議論されているのかについて、文献やメディアの言説を分析することも行いつつ、これらの教育改革のもたらす影響について探究していきたいと考えている。

## 注

- 1) 「オーストラリアの若者のための教育目標に関するメルボルン宣言」 Melbourne Declaration on Educational Goals for Young Australians を受けて、2008 年に開発が始まり、英語、歴史、数学、科学に関しては、K から 10 年生のシラバスが 2010 年 3 月から 5 月にかけて、それ以降の学年のシラバスは 2010 年 4 月から 6 月にかけて公開意見徴収を行ったところであり、これらの意見に基づいた調整の末、2010 年の終わりまでに編集が終了する予定である。地理、言語、芸術のシラバスに関しては、2010 年の中盤までに公開意見徴収が行われ、2011 年には編集が終了する予定である。K から 10 年生のシラバスについては 2013 年までに実施に移される予定である。[http://www.acara.edu.au/verve/\\_resources/What\\_are\\_the\\_AC\\_development\\_timelines.pdf](http://www.acara.edu.au/verve/_resources/What_are_the_AC_development_timelines.pdf)
- 2) 連邦政府はカリキュラムやテストにおける中央集権化を推し進める一方で、これまで各州と直轄区が教育予算の関係で放置せざるをえなかった校舎の改装・改築を積極的に行っている。これは経済活性化政策の一環にも位置付けられており、14 億 7 千万豪ドルの予算を投入するこの政策は、Building Education Revolution (BER) program と呼ばれる。
- 3) これら NSW 州独自の教育改革については、以下の論文に詳しい。山田真紀「オーストラリアの教育改革：NSW 州が独自に進める教育改革に注目して」 相山女学園大学教育学部『教育学部紀要』4 号、2011 年 3 月（印刷中）。
- 4) 報告書は以下のページで公開されている。[http://www.naplan.edu.au/reports/national\\_report.html](http://www.naplan.edu.au/reports/national_report.html)
- 5) 原文は “Bachelor, degree or above”, “Advanced diploma/diploma”, “Cert I to IV”, “Year 12 or equivalent”, “Year 11 or equivalent or below”, “Not stated” である。「バチェラー・学位・それ以上」は、高等教育セクターの大学の学部卒業以上の資格を示す。バチェラーは 3～4 年間の大学教育を受けた学士の資格を示す。「上級ディプロマ・ディプロマ」は中等教育学校以降の 2～3 年の学習で取得できる「職業へ向けた教育と訓練セクター」の資格であり、1～2 年間の大学での学習と同等程度の資格と見られている。通常、大学や専門学校 (TAFE) において発行される。「1 から 4 の証明書」とは、基本的な中等教育後の資格証明書であり、就職や、さらなる学習や訓練の候補者であることを示すものである。1 と 2 の証明書は基礎的な職業的技能と知識を示し、3 と 4 はさらに高度の技能や知識があることを示し、4 については大学で発行され、バチェラーと同等のものとみなされる。通常、専門学校 (TAFE) で発行される。「12 年生もしくは同等」とは、高等学校を修了したものである。「11 年生もしくは同等それ以下」は高等学校の修了年限まで学校に留まらなかったものをさす。  
[http://en.wikipedia.org/wiki/Australian\\_Qualifications\\_Framework#Diploma2C\\_Advanced\\_](http://en.wikipedia.org/wiki/Australian_Qualifications_Framework#Diploma2C_Advanced_)

Diploma.2C\_Associate\_degree

- 6) 親の学歴や職業については、学校入学時に申請書に記入することになっている。以下は日本語の申請書であり、親の職業の分類についても詳細な情報を得ることができる。  
<http://www.schools.nsw.edu.au/media/downloads/languagesupport/enrol/application/japanese.pdf>
- 7) 佐藤博志「オーストラリアにおけるナショナル・カリキュラムに関する考察—実施過程を中心に—」『比較教育学部研究』第22号、1996年、101-112頁に詳しい。
- 8) <http://www.acara.edu.au/default.asp>
- 9) <http://www.naplan.edu.au/> 過去問題を見るためには [http://www.naplan.edu.au/tests/tests\\_landing\\_page.html](http://www.naplan.edu.au/tests/tests_landing_page.html) を参照のこと。2008年度、2009年度、2010年度の過去問題を見ることができる。
- 10) NAPLAN について解説する保護者向けのパンフレット（日本語）において、基礎英語能力テストと訳されているのでこれに習った。他の3つの教科についても同様である。  
<http://www.schools.nsw.edu.au/media/downloads/languagesupport/naplan/info/japanese.pdf>
- 11) OECD 生徒の学習到達度調査（PISA）2006年度調査結果について、文部科学省初等中等教育局メールマガジン、初中教育ニュース、第73号（臨時号）、平成19年12月5日、  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/19/12/07122007.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/19/12/07122007.htm)
- 12) <http://www.schools.nsw.edu.au/media/downloads/languagesupport/naplan/info/japanese.pdf>
- 13) BRIAN J. CALDWELL, Transparency, Autonomy, and Performance Pay in Australia, *Phi Delta Kappan*, April 2010, Vol. 91 Issue 7, pp. 87-88
- 14) [http://www.naplan.edu.au/reports/reports\\_landing\\_page.html](http://www.naplan.edu.au/reports/reports_landing_page.html)
- 15) <http://www.myschool.edu.au/>
- 16) BRIAN J. CALDWELL, An Education Revolution in Australia, *Phi Delta Kappan*, Sep2009, Vol. 91 Issue 1, pp. 99-100